

平成19年(2007年)3月期 中間期 業績の概況

1

業績の概要

2

業績の詳細

3

市場別の業績概要

4

中期事業戦略と業績動向について

5

利益配分について



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



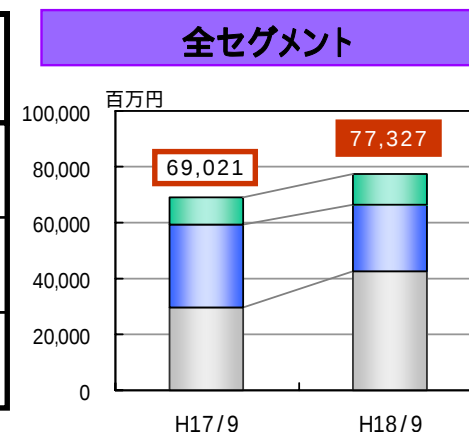
1 - 1) 中間期の業績

- 売上高・・・金融機関向け商品が好調。
- 利 益・・・売上構成の変化(高利益率商品の比率上昇)、売上高増加により、前年同期から増加。

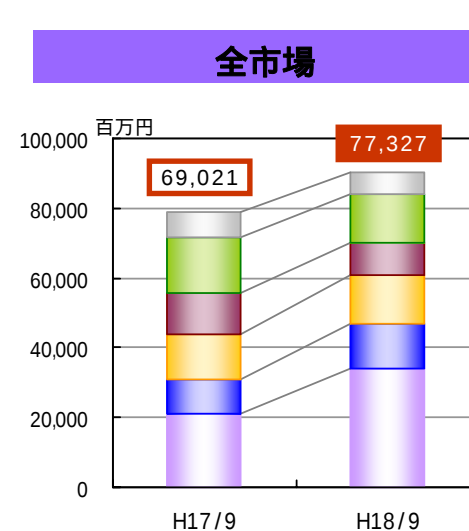
(百万円)	平成18年3月期	平成19年3月期	前年同期比
	中間期	中間期	
売上高	69,021	77,327	12.0%
営業利益	3,058	5,317	73.9%
経常利益	3,574	5,828	63.0%
当期純利益	1,566	3,752	139.5%

2-1) セグメント別・市場別売上高

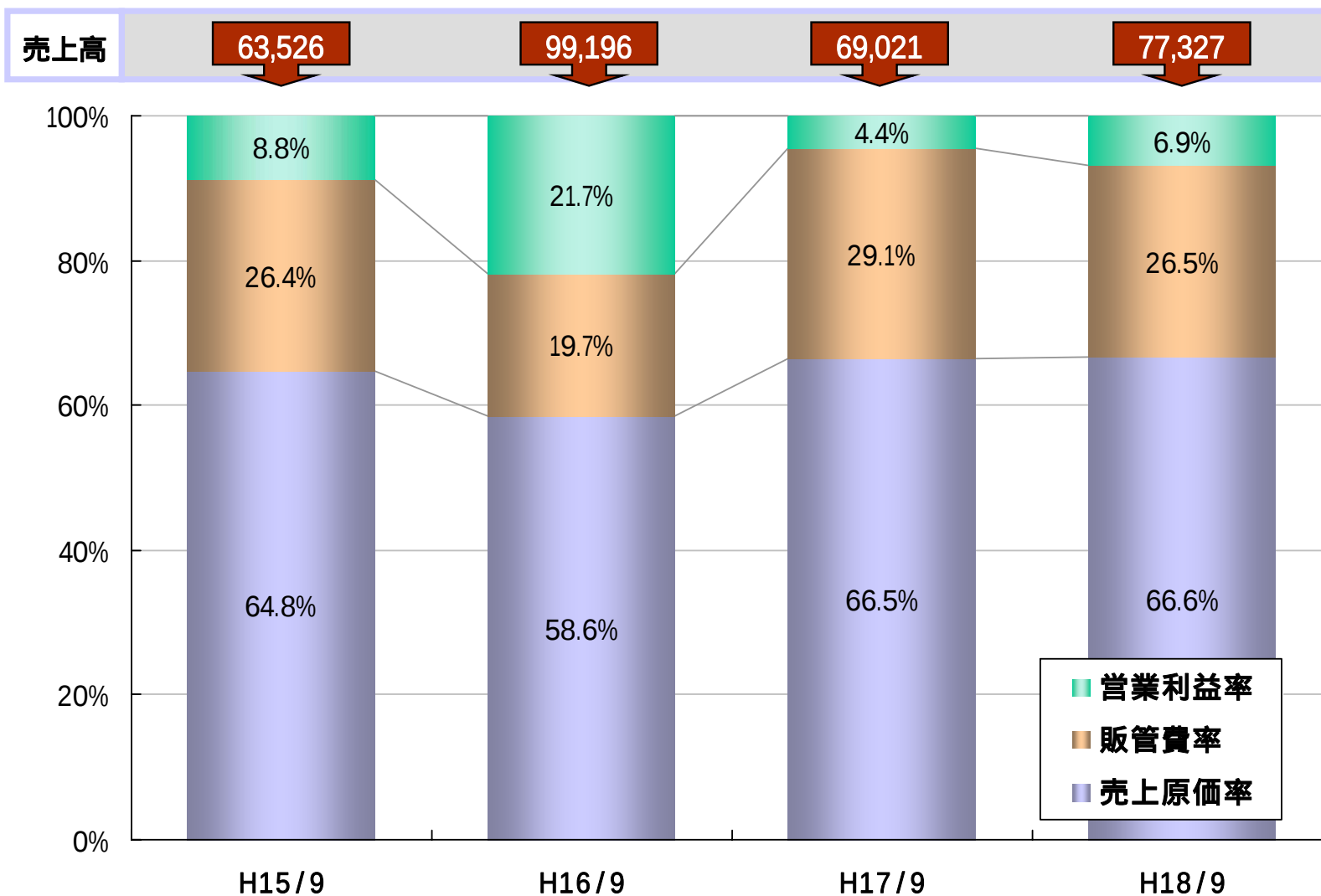
セグメント別	平成18年3月期 中間期	平成19年3月期 中間期	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	29,989	42,375	41.3%
自動販売機 及び自動サービス機器	29,580	24,171	18.3%
その他の商品 及び製品	9,451	10,780	14.1%



市場	平成18年3月期 中間期	平成19年3月期 中間期	前年同期比
金融機関	11,422	20,953	83.4%
海外	9,698	12,888	32.9%
流通・交通	13,252	14,052	6.0%
自動販売機	11,596	9,263	20.1%
遊技	15,806	14,080	10.9%
その他	7,247	6,091	16.0%



2 - 2) 売上高・売上原価率・販管費率・営業利益率





2 - 3) 平成19年3月期 業績予想



売上高・・・国内外の金融機関向け商品、フロント関連商品等が順調に推移する見込み。
利益・・・コスト構造改革を積極的に推進中。

(百万円)	平成18年3月期	平成19年3月期	
	通期	通期予想	前年同期比
売上高	141,231	160,000	13.3%
営業利益	5,453	11,000	101.7%
経常利益	6,132	11,200	82.6%
当期純利益	740	7,000	845.9%

3 - 1) 金融機関市場

● 基幹商品の需要が拡大

- 金融機関の業績向上に併せて、現金取扱い業務の人的ミス削減に関する設備投資意欲が向上。
- 郵政民営化に伴う、(郵政及び民間の)機械化促進による相乗効果。

【前年同期比】83.4%増

主力商品のオープン出納システム「WAVEシリーズ」
窓口用現金入出金機「RBシリーズ」の販売が順調。



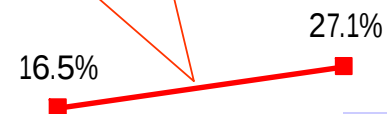
オープン出納システム
WAVEシリーズ



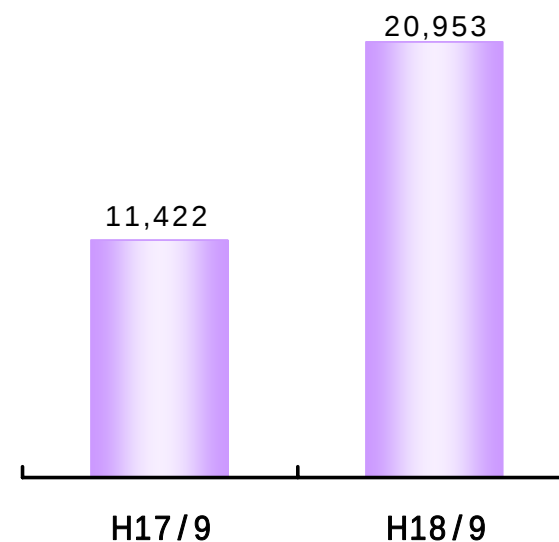
窓口用現金入出金機
RBシリーズ

金融機関市場 売上高

総売上高比率



単位:百万円



3 - 2) 海外市場

● システム商品の需要が拡大

欧州でのユーロ通貨に関する偽札対応や省力化ニーズの高まりから、ATMの需要やシステム商品の需要が拡大。

【前年同期比】32.9%増

窓口用紙幣入出金機「RBUシリーズ」の販売が順調に推移。OEM商品であるATM用紙幣入金ユニット「UDシリーズ」の販売も拡大。



紙幣入出金機
RBUシリーズ



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ

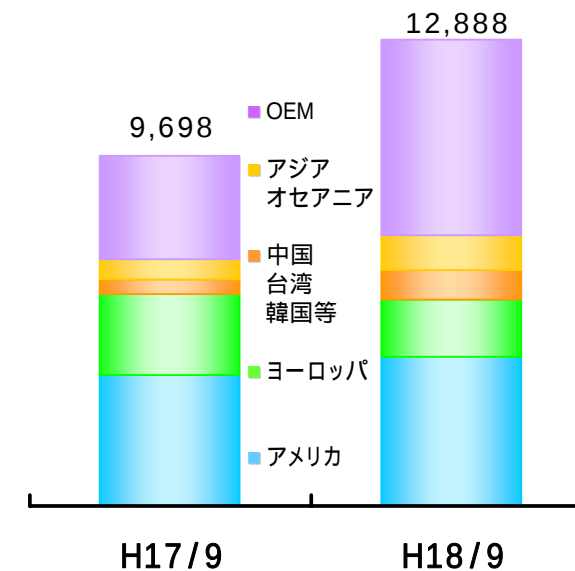
海外市場 売上高

総売上高比率

14.1%

16.7%

単位: 百万円



3 - 3) 流通・交通市場

● レジつり銭機が順調

従業員のパート・アルバイト化、営業時間の延長により、レジ周辺機器の需要は拡大。
また、レジつり銭機の商品ラインナップを強化。

【前年同期比】6.0%増

レジつり銭機の販売が順調に推移。



ドア付きレジつり銭機
RT・RADシリーズ



大手量販店向け
レジつり銭機
RT・RADシリーズ

流通・交通市場 売上高

総売上高比率

19.2%

18.2%

単位: 百万円

13,252

14,052

H17/9

H18/9

3 - 4) 自動販売機市場

● たばこ販売機の需要が減少

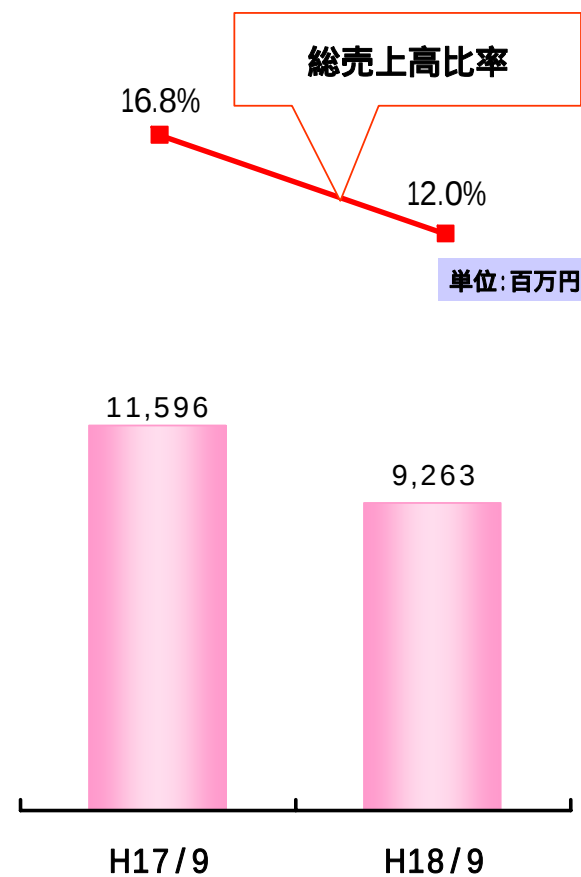
成人識別機能搭載たばこ販売機の更新や改造需要が下期以降に延伸し、販売が減少。

【前年同期比】20.1%減



たばこ販売機
TNRシリーズ

自動販売機市場 売上高



3 - 5) 遊技市場

● 業界全体の低迷により投資が冷え込む

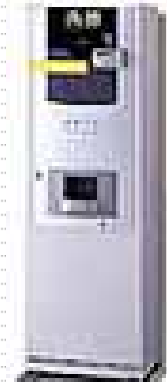
遊技機器の規制改正に伴い、ホールでは遊技機器の入れ替えに投資をシフトしていることから、関連機器への投資を抑制。

【前年同期比】10.9%減

台間紙幣メダル貸し機や紙幣両替機の販売が減少。

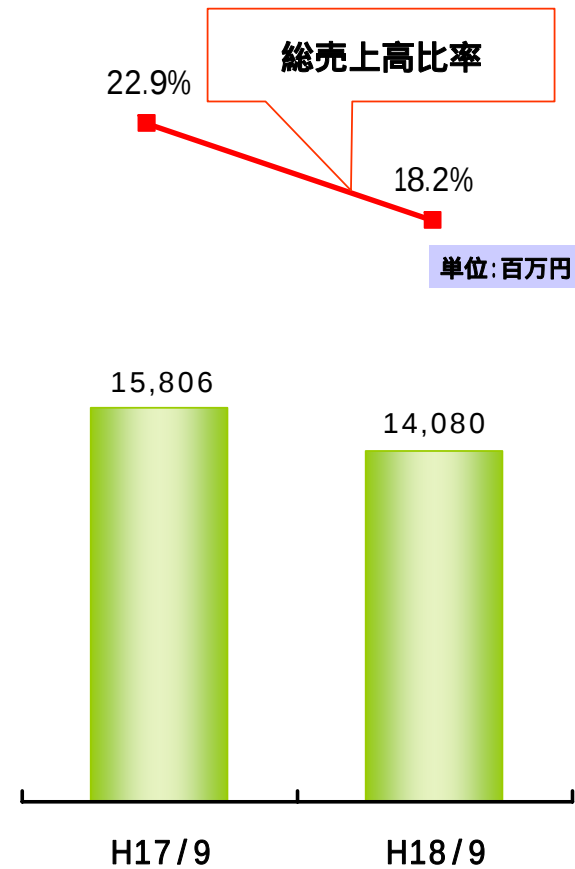


台間メダル貸し機
JMM - 20/20A



高額紙幣両替機
ER - 120 - E

遊技市場 売上高



3 - 6) 一般市場

● 各市場で需要が減少

- ・病院関連製品等の販売が減少。
- ・ICカード関連商品の販売が減少。

【前年同期比】16.0%減

病院向け診療費支払機「FKシリーズ」やICカードを利用した「食堂システム」の販売が減少。



診療費支払機
FKシリーズ



オートレジ
PSAシリーズ

「一般市場」とは

- ・病院市場 ・ICカード市場 ・官公庁市場 ・学校市場
- ・レジャー市場 ・ボトラー・オペレーター ・企業他

一般市場 売上高(主な市場)

総売上高比率

10.5%

7.9%

単位:百万円

7,247

6,091

H17/9

H18/9

3 - 7) 保守売上高

● 無償保証期間の影響により売上高が減少

システム商品の販売増加に伴う、無償メンテナンス対象範囲の拡大の影響を受け、売上が減少。
たばこ販売機の成人識別に関する改造売上も下期に延伸。

【前年同期比】9.5%減



オープン出納システム
WAVEシリーズ

保守売上高

総売上高比率

23.4%

18.9%

単位:百万円

16,175

14,637

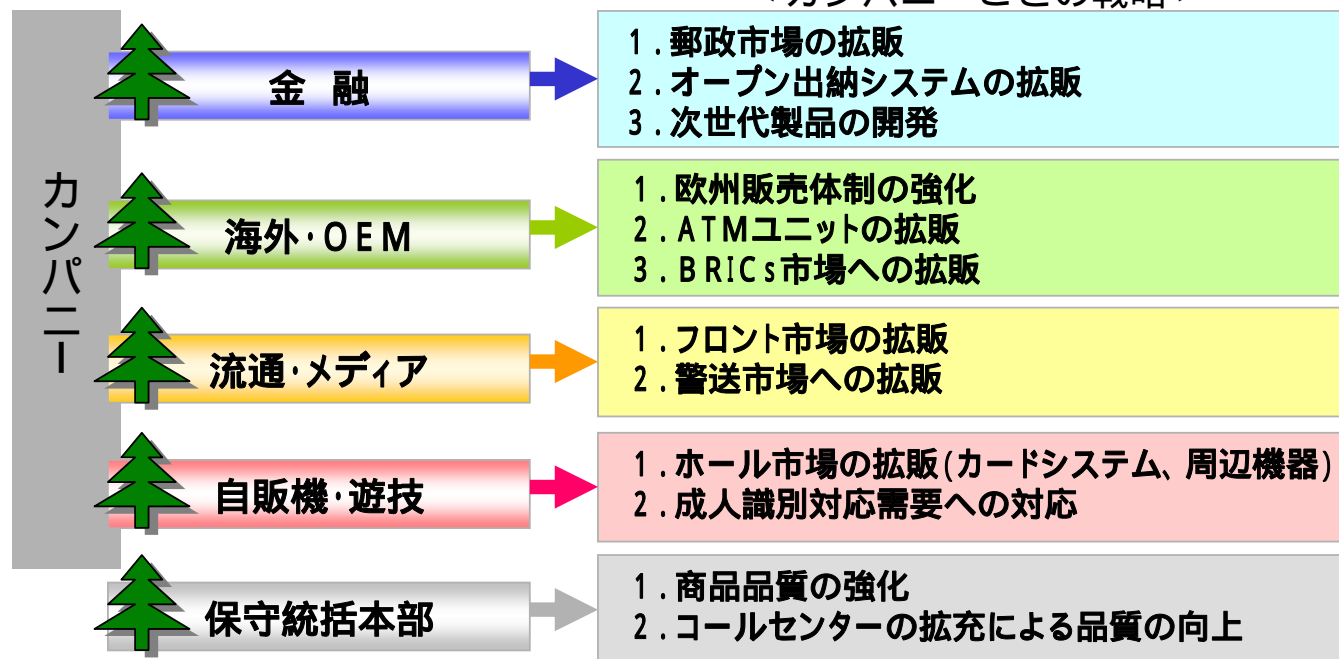
H17/9

H18/9

4 - 1) 成長戦略

1．カンパニー制導入による事業対応力の強化、
事業経営のスピードアップを図る

<カンパニーごとの戦略>

2．非現金分野事業、新規事業領域の推進

(収益規模拡大、雇用創出、保守につながる新規事業を育成する)

4 - 2) カンパニー別売上規模

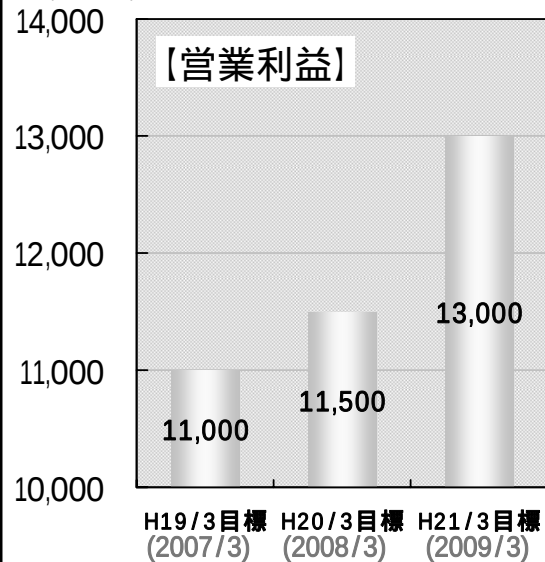
カンパニー	カンパニーの担当主要市場	売上高目標 平成21年3月期(2009/3)
 金融	- 国内一般金融機関市場 - 郵政公社	300億円
 海外・OEM	- 国内外OEM向け商品 - 海外市場(自社製品)	225億円
 流通・メディア	- 流通市場 - 交通市場 - 警送市場 - 病院市場 - ICカード市場 - 一般企業市場	230億円
 自販機・遊技	- たばこ自動販売機市場 - 遊技市場	235億円
 保守統括本部	市場全般	245億円
新事業	- 生体認証 - 通信サービス - 精算ビジネス - 印刷検査機他	50億円 + α

4 - 3) 連結業績

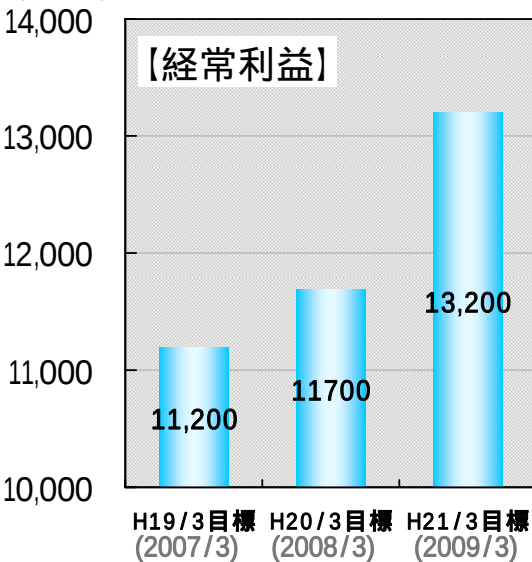
(百万円)

		H19/3 (2007/3)	H20/3 (2008/3)	H21/3 (2009/3)
平成18年9月27日 予想	売上高	160,000	▶ 160,000	▶ 160,000
	営業利益	11,000	▶ 11,500	▶ 13,000
	経常利益	11,200	▶ 11,700	▶ 13,200
	当期純利益	7,000	▶ 7,500	▶ 8,500

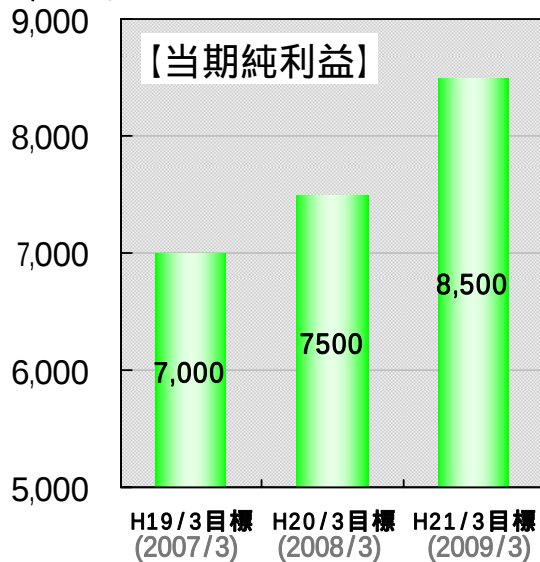
(百万円)



(百万円)



(百万円)



5 - 1) 利益分配について

● 平成19年3月期の配当予想修正について

配当方針

自己資本をベースとした安定配当に加え、
連結業績等の動向も勘案した利益還元

グロリー商事との合併により、自己資本が増加

1株当たりの配当金

	中間期末	期 末	年 間
平成18年3月期 実績	11円00銭	11円00銭	22円00銭
平成19年3月期 予想	11円00銭	17円00銭	28円00銭
平成20年3月期 予想	14円00銭	14円00銭	28円00銭